

平成22年度あいち男女共同参画財団事業報告

<県民意識の変革>

各種講座等の開催により、固定的な男女の役割分担意識の変革などを進め、男女共同参画に関する認識の深化、定着を図った。

1 男女共同参画に関する理解促進

あいち国際女性映画祭（自主事業）

男女共同参画意識の普及を図るため、世界で活躍する女性映画監督等を招き、男女共同参画の視点から、女性の生き方や社会参加、女性と男性の相互理解などをテーマとした作品を中心に上映を行うとともに、上映後に監督等によるゲストトークを実施した。

あわせて、ソウル国際女性映画祭との相互交流プロジェクトとして、共同ディレクターを招いてのシンポジウムや韓国の若手女性監督と映画祭期間中に短編映画を制作するワークショップを実施した。

また、県内4会場でも市と共催して上映し、全県的な広がりを持った映画祭とした。

さらに、ゲストトーク等の内容をまとめた記録誌を発行した。

・開催日 平成22年9月8日（水）～12日（日） 5日間

・会場 ウィルあいち会場

共催市4会場（小牧市、田原市、北名古屋市、弥富市）

・内容

上映作品 32本

女性監督作品 26本（海外監督18本・日本人監督8本・

日本初公開6本・愛知初公開17本・日本語字幕作成3本）

日本映画名作 6本

ゲストトーク 17回

イベント シンポジウム、トークサロン、ワークショップ、シーン・ボイスガイドと日本語字幕つき映画鑑賞会

招待者 映画監督、出演俳優、海外女性映画祭ディレクター等 24名

海外10人、国内14人

参加者 13,148人

映画上映 8,291人（ウィルあいち6,888人、4市1,403人）

ゲストトーク・イベント 4,857人

・記録誌

「あいち国際女性映画祭2010記録」

発行部数 700部

発行年月 平成23年1月

2 男女共同参画に関する啓発

男女共同参画セミナー（自主事業）

女性を取り巻く諸問題の解決や新たな活動へのチャレンジ、仕事と家庭生活を調和させるワーク・ライフ・バランス、男女共同参画により地域課題に取り組む人材の養成などに役立つ講座を開催した。

・実施回数 年2期8セミナー、4公開講座

○ 前期

・テーマセミナー①-1

「サクセスフル・エイジングー心構え編ー」

平成22年5月29日（土）始め3日間 参加者 41人 応募者 48人

・テーマセミナー①-2

「サクセスフル・エイジングー実技編ー」

平成22年6月17日（木）始め2日間 参加者 34人 応募者 41人

・テーマセミナー②

「韓流ドラマを十倍楽しむ！」

平成22年7月11日（日）始め2日間 参加者 51人 応募者 68人

・キャリアアップセミナー

「言われる前に動く！ ～「自律型人材」育成セミナー～」

平成22年6月6日（日）始め2日間 参加者 21人 応募者 32人

・公開講座①

「女性の創る歌舞伎の新しい魅力 ～市川櫻香～」

講師：市川櫻香（NPO法人むすめかぶき代表理事）

平成22年7月3日（土） 参加者 52人 応募者 65人

・公開講座②

「韓流スターたちの素顔」

講師：古家正亨（ラジオDJ、韓国観光名誉広報大使）

平成22年7月11日（日） 参加者 131人 応募者 160人

（他に「テーマセミナー②」の参加者）

○ 後期

・テーマセミナー①

「婚活とは？」

平成23年1月30日（日）始め2日間 参加者 30人 応募者 39人

・テーマセミナー②

「男女共同参画基本計画（第3次）から見えてくるもの」

平成23年2月20日（日）始め3日間 参加者 19人 応募者 22人

・キャリアアップセミナー

「ロジカルコミュニケーション」

平成23年2月19日（土）始め2日間 参加者 51人 応募者 75人

- ・地域の課題解決セミナー
「情報発信のススメ」
平成22年10月3日（日）始め3日間 参加者 7人 応募者 13人
- ・公開講座①
「息子3人！アナウンサー夫婦 子育て奮闘物語」
講師：笠井信輔（フジテレビアナウンサー）
平成23年1月22日（土） 参加者 113人 応募者 170人
- ・公開講座②
「男女共同参画基本計画（第3次）の目指すもの」
講師：鹿嶋敬（実践女子大学教授）
平成23年2月20日（日） 参加者 101人 応募者 101人
（他に「テーマセミナー②」の参加者）

<社会参画と交流の促進>

女性が抱える諸問題の解決への支援を行うと共に、社会のあらゆる分野への女性の参画を促進するための人材育成や、課題の解決に役立つネットワークづくりを進め、交流の輪を広げた。

1 女性問題相談

(1) 総合相談（受託事業）

家庭、地域、職場など生活のあらゆる場面で、女性が抱えている問題に対し、解決に向けて手掛かりが得られるように総合的な相談を実施した。

- ・種類 電話相談、面接相談（女性の相談員）
- ・相談日 休館日を除く毎日（週1回夜間の面接相談を実施）
- ・相談件数 電話相談 3,406件
面接相談 個別相談 599件 グループ相談5回

(2) 専門相談（受託事業）

ア 女性のための法律相談

離婚・相続・金銭や不動産など身のまわりの法律問題について、女性弁護士が面接による相談を実施した。

- ・種類 法律相談（女性の弁護士）
- ・相談日等 週1回（年46回）
- ・相談件数 117件

イ DV専門電話相談

DV被害者に対する実効性のある支援を弁護士により実施した。

- ・実施方法 弁護士によるDV専門の電話相談
- ・相談日等 週1回（年46回）
- ・相談件数 99件

2 心身の健康づくり（自主事業）

心と体の健康づくり及びリフレッシュのためフィットネス事業を実施した。

- ・ソフトエアロビクス教室 週2教室 参加者 624人
- ・中高年向きフィットネス教室 週4教室 参加者1,494人
- ・こども教室 週4教室 参加者1,220人

3 交流と協働の推進

イベントや講座の共催などを通して、市町村や女性団体等関係機関の連携を強化し、事業の効果を上げるとともに、団体間の交流の促進を図った。

(1) サテライトセミナー（自主事業）

遠隔地等でウィルあいちまで来ていただくことが難しい地域に出かけていき、地元の市町村等と共催でセミナーを開催することにより、県内全域における男女共同参画社会の実現に向けての啓発を行った。

- ・実施回数 年11回（江南市、長久手町、田原市、一宮市、岡崎市、安城市、春日井市、知立市、新城市、みよし市、弥富市）
- ・参加者 845人

(2) 協働推進事業（自主事業）

ア ウィルあいちフェスタ

男女共同参画社会の実現に資する講演やシンポジウムなど、参加団体が自ら企画したイベントを公募し、活動の発表の場としてウィルあいちフェスタを実施した。

- ・開催日 平成22年11月13日（土）
- ・参加団体 21団体22企画
- ・イベント内容 講演会・講習会等：9、上映会：1、活動発表：1、その他：11
- ・参加者 1,649人

イ ウーマンネットワーク支援事業

女性が働く上で直面する課題の解決方法について学習する機会を設け、参加者同士のネットワークづくりを支援し、女性の社会参画の推進と活躍の機会の拡大を図った。

年4回

- ・第1回 「こころに響く！「ほめ方」「叱り方」」
平成22年6月5日（土） 参加者47人 応募者57人
- ・第2回 「「浅田家」流！思い出をつくる写真術 ～写真でもっと楽しもう、つながろう～」
平成22年6月19日（土） 参加者49人 応募者73人
- ・第3回 「「チョコレート」の来た道」～美味しいチョコの苦い話とフェアトレード～」
平成23年1月30日（日） 参加者18人 応募者22人

- ・第4回 「しなやかにエコスタイルを創る女性たち ～共感空間をつくる～」
平成23年2月26日（土） 参加者31人 応募者37人

ウ 女性グループリーダー研修

女性グループのリーダー等を対象にした研修を実施し、女性グループの活動基盤の強化や組織の活性化、女性の地域活動への参加促進を図った。

- ・「リーダーのためのファシリテーション講座 ～グループを元気にするファシリテーション・スキル～」
平成22年6月12日（土） 始め3日間 参加者27人 応募者32人

エ 協働事業

女性団体、企業、関係機関との協働事業を行い、連携の強化を図った。

年9事業9機関、総参加者数：723名

- ・「COP10生物（生命）多様性はなぜ重要なのか？」
愛知県女性地域実践活動交流協議会 参加者81名
平成22年5月18日（火）
- ・「The Women's Seminar」
日本政策金融公庫名古屋支店 国民生活事業、名古屋商工会議所、愛知県商工会連合会 参加者90名
平成22年7月22日（木）
- ・「女性と環境行政 ～草の根からグローバルな活動へ～」
NPO法人ウィル21フォーラム 参加者55名
平成22年10月2日（土）
- ・「情報発信のススメ」
メディア・エクспリモ 参加者7名
平成22年10月3日（日） 始め3日間
- ・「塀の中の現実に見る 日本の社会」
ウィルあいち交流ネット 参加者202名
平成22年11月13日（土）
- ・「自分らしく生きるために ～ABCクッキングとわたし～」
ABCホールディングス 参加者39名
平成22年12月19日（日）
- ・「社会を変える ～しあわせになるために～」
ウィルあいち交流ネット 参加者45名
平成23年1月15日（土）
- ・「こんな時どうやって守る？ ～おんなの権利～」
愛知県女性地域実践活動交流協議会 参加者39名

平成23年1月18日（火）

- ・「ロスト・シングル ～一人残された男の自立～」

読売新聞社 参加者165名

平成23年3月5日（土）

(3) 女性問題相談員支援事業（受託事業）

男女共同参画の視点に立った相談を推進し、関係機関との連携を図るため、研修及びネットワーク事業を実施した。

ア 市町村女性問題相談員実務研修

県内市町村で女性問題を中心に相談を受ける相談員及び市町村の女性センター相談員等を対象として、実務研修を実施した。

年2回

- ・第1回 「今求められる女性支援とは～貧困などジェンダーから派生する困難を考える」
平成22年6月17日（木） 参加者42人 応募者46人
- ・第2回 「今求められる女性支援とは～高齢女性の支援を考える」
平成22年9月16日（木） 参加者38人 応募者38人

イ 女性問題相談員ネットワーク事業

行政機関及び民間の相談員や弁護士、家裁の調停委員など女性問題に関する相談に携わる専門家を対象に、女性の人権を侵害するさまざまな問題の解決を図るため、講演会及び分科会を実施した。

- ・「DV被害者支援をさらに進めるために」

平成22年12月16日（木） 参加者94人 応募者104人

(4) ウィルあいち交流ネットの支援（自主事業）

男女共同参画セミナー等の修了者により結成された自主活動グループが組織した「ウィルあいち交流ネット」を支援するため、「ウィルあいち交流ネット通信」を発行すると共にウィルあいちフェスタへの参加及びウィルあいち交流ネットセミナーの開催を協働で実施した。

- ・「ウィルあいち交流ネット通信」の発行 年6回
- ・ウィルあいちフェスタ参加 平成22年11月13日（土）
ウィルあいち交流ネットセミナー開催 平成22年11月13日（土）

4 社会参画の支援

行政の政策決定の場やボランティア活動及び経済活動など社会のあらゆる分野への女性の参画を進めるため、女性の人材育成等を行った。

(1) 男女共同参画人材育成事業（受託事業）

ア 男女共同参画人材育成セミナー

政策や方針決定の場への女性の登用を積極的に推進するため、とりわけ県内各市町村において登用できる女性人材を計画的かつ継続的に育成することを目的として、市町村から推薦を受けた参加者を対象とするセミナーを実施した。

- ・実施回数 年1回（10日間）
- ・参加者 36人
- ・研修期間 1年間
- ・主な内容 県行政「男女共同参画」、男女共同参画統計・データの活用、住民参加のまちづくり、女性と人権、ワーク・ライフ・バランスほか

イ フォローアップセミナー

地域実践活動グループの自主的で地域に根ざした活動の一層の推進を図るため、これまでの人材育成セミナー受講者に対しセミナーを開催した。

- ・「未来へつなぐ男女共同参画」
平成23年2月5日（土） 参加者56人

(2) 女性の社会参画支援事業（受託事業）

生活困難を抱える若年女性を対象とした自立・就労のための講座を開催するとともに、子育てや介護でいったん仕事を中断した女性の社会参画を支援するため、就業・起業についての相談や就業支援のための講座を実施した。

ア 若年女性自立支援事業

「シングル女性の就職応援セミナー」

- ・実施回数 年2回（1講座各10日間）
- ・参加者 42人 応募者 51人
- ・主な内容 自己分析と適職選択、履歴書の書き方、面接対策、パソコンの基本操作ほか

イ 女性の再チャレンジ支援事業

(ア) 女性の再チャレンジ支援事業

- ・相談員
就業相談 社会保険労務士、ファイナンシャル・プランナー、キャリアアドバイザーの資格を持った女性
起業相談 起業やNPO活動等の経験と実績のある女性
- ・相談日等 就業 月2回（1回3コマ年20回）
起業 隔月1回（1回5コマ年6回）
- ・相談件数 就業 33件
起業 26件

(イ) 就業支援講座

（起業コース）

- ・実施回数 年1回（5日間）

- ・参加者 27人 応募者 58人
- ・主な内容 起業のための概論、事例研究、事業計画書の作成ほか

(就業コース)

- ・実施回数 年1回(5日間)
- ・参加者 19人 応募者 42人
- ・主な内容 ビジネスマナー、履歴書作成のポイント、プレゼンテーションほか

<情報の蓄積と発信>

男女共同参画社会実現のために、必要な情報の収集及び提供を行った。

1 情報の収集・提供

(1) 情報提供事業(受託事業)

男女共同参画に関する各種情報の収集を行うとともに、「ウィルあいちホームページ」を通じ、団体・グループ情報、財団主催事業、施設の案内など各種情報の提供を行った。

また、メールマガジン「ウィル・レター」により、メールを利用して財団が主催する事業の案内や各種情報の提供を行った。

このほか、情報ライブラリーにインターネット用パソコンを設置し、情報活用を促進した。

- ・ホームページアクセス数(平成22年度) 142,946件

(2) 情報ライブラリーの運営(受託事業)

ア 図書・行政資料・視聴覚資料などの収集と提供

男女共同参画社会の実現や、女性に関わる様々な問題への対応のため、図書・行政資料・視聴覚資料などの資料を収集し、閲覧、貸出及びレファレンスを行った。

レファレンスについては、収集した図書・行政資料だけでなく、インターネットも活用して実施した。

- ・蔵書数(平成23年3月末現在)

図書 41,064冊(うち行政資料6,669冊)、視聴覚資料1,047本

- ・図書貸出数 24,077冊
- ・視聴覚資料貸出数 2,915本
- ・レファレンス件数 3,611件

イ 情報発信のための事業

情報ライブラリーを中心に男女共同参画社会の実現に役立つ情報発信のため、情報ライブラリーフェスタ等のイベントを実施した。

(ア) 情報ライブラリーフェスタ

年2回

- ・第1回 テーマ展示 「仕事と生活の調和を考える ワーク・ライフ・バランス」

平成22年6月23日（水）～6月29日（火）

- ・第2回 テーマ展示 「女性の生き方と年金」

平成22年10月1日（金）～10月31日（日）

(イ) テーマ展示

- ・パネル展示

「女性に対する暴力をなくすために」及び「人権啓発パネル展示」

- ・時宜を得た話題に沿った書籍展示

「男の定年準備～人生の第2ステージを充実させるために～」ほか8テーマ

2 広報による情報発信

男女共同参画広報誌の発行（自主事業）

男女共同参画社会を実現するために必要な情報などを提供するため、男女共同参画に関する普及・啓発記事や、各種セミナーやイベントなど事業の案内・報告等を掲載し、広報活動を行った。

- ・発行回数 年4回（5月、8月、10月、1月発行）

- ・発行部数 12,000部

- ・規格 A4判 二つ折 8ページ

- ・特集テーマ

No.67(22年5月発行)「若者の結婚事情と男女共同参画」

No.68(22年8月発行)「あいち国際女性映画祭2010」

No.69(22年10月発行)「女性の生き方と年金」

No.70(23年1月発行)「女性は働きやすくなったのか?-均等法から25年」

<理事会等の開催>

財団の業務運営状況を審議するため、理事会等を次のとおり開催した。

- ・理事会 5回（平成22年5月、8月、11月、平成23年2月、3月）

- ・評議員会 4回（平成22年5月、8月、平成23年2月、3月）

※11月の理事会は書面表決